



いまり 特別支援学校だより

「第44回体育祭」に向けて、各学部がんばりました！！

★ 全体 ★【第44回 体育祭】 体育祭総務：大坪正樹



「来年こそは…」と書いた昨年のこの学校だよりでしたが、残念なことに今年も雨となりました。まだまだコロナ禍ということで、保護者の皆様には参観ができない体育館での開催となり、皆様のご理解とご協力に感謝申し上げます。各学部とも大型連休を挟んでの単元でしたが、毎日の練習を積み重ね、競技だけでなく開閉会式、準備や片付け、掲示物制作等いろいろな場面で自分の力を発揮してくれたと思います。来年こそは、運動場でみんなの姿を見たいですね。

【小学部】

★たいいくさいだいくぞ、オー！
小学部では、「たいいくさいだいくぞ、オー！」をテーマとして、3週間毎日体育祭に取り組みました。今年度の学部競技は、徒競走「おいしいたべもの、はいどうぞ♡」を行い、好きな食べ物のオブジェを選んで、アンパンマンやドラえもんなどの口に入れ、ゴールに向かって走りました。1位を勝ち取るために全力で走ったり、運ぶ食べ物を吟味したり、フライパンを使って食べ物を運んだり、1人1人が色々な姿で楽しみながら走り抜けました。ゴールしたら、高学年が作ったメダルを首からかけて笑顔に☆ダンスは「フルーツポンチ！」をみんなで楽しく踊りました。悔し顔、嬉し顔、いろいろな子どもたちの表情が見られた体育祭でした！（小学部 T1：山根）

【中学部】

★「自分たちで作上げた体育祭」
中学部では、万国旗などの中央廊下の装飾をはじめ、大会看板や保護者さんが通る通路の歓迎看板の制作をしました。みんなとても熱心に取り組み、とても素晴らしい作品を作りました。保護者さんにお見せできなかったことが、大変悔やまれます。また、競技練習では、開閉会式の司会から選手宣誓、徒競走、応用徒競走「吹き抜ける伊特の風」まで自分たちで進行をしてきました。当日は、一人一人が練習の成果を十分に発揮し、みんなで体育祭を作り上げようとする姿が見られました。結果、今年は赤組の優勝となりましたが、笑顔がたくさん見られた良い体育祭となりました。中学部の皆さん、お疲れ様でした！（中学部 T1：待鳥）

【高等部】

★今年度は、体育祭当日だけでなく、単元中に様々なスポーツを行い、その勝敗で競いました。「玉入れ」や「ニチレクボール」、「シュート対決（サッカー・バスケットボール）」に「ボウリング」を行い、2勝2敗で迎えた体育祭では、雨天時競技の「玉入れ」と「シュート対決」での決戦となりました。白熱した内容で、勝敗にこだわらずに一生懸命に取り組みました。当日の内容は、1学期末の懇談等で見られるように準備します。「ボウリング」では、スターボウルを貸し切りしました。初めてする生徒や久しぶりにする生徒もいましたが来年もしたい！」とそれぞれのレーンで楽しみ、盛り上がりました。（高等部 T1：美間坂）

★パラスポーツ大会、がんばりました！！★（高等部：長野）

【5/15卓球 5/22陸上競技】

今年も無事にパラスポーツ大会が開催されました。今年度は卓球と陸上競技の2競技に学校代表の生徒が参加しました。全国大会の選考会も兼ねてあったため、生徒たちは気合十分で大会に臨みました。大会当日は緊張もありましたが、4月からの練習の成果を発揮し、生徒それぞれが自分の持てる力を出し切ることができました。中には自己記録を更新することができた生徒や好成績を収めることができた生徒もおりました。終業式で表彰を行います。10月の大会も楽しみです。

今年度も、児童生徒への応援、本当にありがとうございました。



★「できた！」を大切に★【特別支援教育の充実のために～地域の特別支援教育推進のセンター校として～】

本校では、佐賀県教育委員会による「障害のある子どもの学校生活支援事業」として、地域の幼稚園、保育園、小学校、中学校、高等学校からの要請を受けて巡回相談を行っています。子ども達が安心して生活し、「できた！」と思える場面をできるだけ多く作ることができるようお手伝いをさせて頂いています。今年度も、訪問させていただいております。また、地域の先生方の専門性向上のための研修会の開催や、障害の有無に関わらず、子どもの気になる様子や発達などに関する教育相談もお受けしています。

子ども達の「できた!」「笑顔」につながるように、特別支援教育推進のセンター校としての役割をしっかりと担っていきたいと思っています。よろしくお祈りします。

(特別支援教育コーディネーター：岩永・田島)

【小学部】

★みんななかよく、笑顔いっぱい
元気いっぱい!

今年度小学部には、新1年生が10名、転入生が1名、合わせて11名の新・転入生が来てくれました。小学部は40名でのスタートとなりました。

小学部最初の合同単元は、「新・転入生を迎える会」です。今年度も予めクラス毎にビデオを撮り、本番当日は、各教室でビデオを見ながら、新しい友達の名前を覚えたり、ダンスを踊ったりしました。

体育祭は、今年度こそ保護者の方に見ていただけたと思いましたが、雨のためグラウンドの状態が悪く、体育館で開催となりました。

赤組、白組に分かれ、それぞれが力を出し切って頑張りました。毎日が体育祭で、1日ずつ勝敗を決め、最終日前日まで白組9勝、赤組8勝の大接戦でした。

体育祭当日は、赤組、白組ともに1勝1敗で、白組の勝ちとなりました。中央廊下には、みんなで作った横断幕を飾り、体育祭を盛り上げました。これからも、みんなで仲良く、力を合わせて頑張っていきたいと思ひます。

(小学部主事：三原弘規)

【中学部】

★元気なあいさつ 明るい笑顔!

今年度中学部には、知的障害学級1年生に7名、肢体不自由学級に1名また、転入生1名を迎えて、25名で新年度をスタートしました。

1年生は環境の変化で少し不安そうな表情も見られましたが、体育祭単元や朝の運動など、2年生や3年生の学習活動や生活の様子を見ながら徐々に慣れて、元気で明るい笑顔がキラキラしてきました。

今年度の体育祭もコロナウイルス感染予防と雨の影響で保護者様に直接応援してもらえませんでした。25名の生徒が力を合わせて取り組み、跳んだり走ったり、踊ったりとても楽しい体育祭になりました。また、5月23日から作業学習が始まりA・B課程（知的障害学級）と（肢体不自由課程）E1課程の3学年の生徒と一緒に勉強することができています。

今年も元気いっぱい笑顔いっぱいの中学部にしていきたいと思ひます。

(中学部主事：古賀高宏)

【高等部】

★自分の役割に全力で取り組む生徒

今年度は1年生23名、2年生16名、3年生19名の合計58名で高等部をスタートしました。

大変緊張した表情で入学してきた1年生も、対面式、作業学習、体育祭などの活動の中で親しくなり、休み時間には友だちや先輩と談笑する姿も見られます。また、一人で過ごしている人も、読書をしたり、絵を描いて過ごしたり、音楽を聴いたりして実りのある時間を過ごすことができています。

高等部卒業までに、身につけてほしい力はたくさんありますが、卒業後に「安心して」「期待して」「意欲をもって」生活できるように、まずは自分の得意なことを増やしてほしいと思ひます。例えば、夢中になって取り組めるもの、時間を忘れて打ち込めるものなどが準備できると、卒業後の生活も豊かになると思ひます。

ご家庭と協力をしながら支援を行っていきます。どうぞよろしくお祈りします。

(高等部主事：森久美子)

【寄宿舎】

★社会性をはぐくむために

令和4年度の寄宿舎生は、男子19名、女子11名の計30名でスタートすることとなり、スタート直後から和気あいあいと仲良く日々の生活を送っています。学校に通う間はこどもたちにとって「家」代わりとなる寄宿舎です。寄宿舎での生活を通して、身の回りのことは自分です。仲間とのかかわりを通して楽しく、豊かな人間関係を作るなどを願ひながら、子供たちが様々なことを体験できるように心がけています。このことが子供たちの社会性をはぐくみ、将来の自立したこどもたちの生活につながるものと考え、今年度も、寄宿舎指導員一丸となって指導に当たってまいります。(寮務主任：川久保潔)

今年度も、伊万里特別支援学校を、どうぞよろしくお祈りします。



〒848-0023 伊万里市大坪町丙1427番地

メールアドレス imaritokubetsushien@education.saga.jp

TEL 0955-23-8554 FAX 0955-20-1005